会報委員会
アドバイザー　石田　晶大（副校長）
編　集　長　秦　博文（14期）
皐城会事務局長　松塚　澄夫（24期）
編集委員　伊藤　佐紀（2期）
山本　剛郎（7期）
小林　修（20期）
永田　浩章（30期）
美濃部五三男（〃）
木西　彩子（32期）
タックシール印刷　加納邦彦（10期）
恩師への発送　関根貴美子（8期）
配送協力　住(中西)亜希子（37期）
（ヤマト運輸）

皐城

同窓会報・第7号

大阪教育大学
附属池田中学校皐城会
発行者　松本淳一郎（2期）
題字　豊田　千代（2期）
〒563－0026
大阪池田市緑丘1－5－1
☎072－761－8690
FAX072－762－1104
印刷　野崎印刷所
〒664－0002 伊丹市荻野4－29
☎072－778－0204

皐城会総会

池田市民文化会館で旧交を
～今年は8の期が担当します～

2008年度の総会後のイベントは8・18・28・38・48・58期が担当します。第2部の講師は8期の勝本章子さんです。国立音大卒業後、ウイーン市立音楽院オペラ科を修了。その後、主にヨーロッパでソプラノとして数々のオペラに出演。帰国後は、小澤征爾との共演等。特に「フィガロの結婚」スザンナ役は有名。日本人の海外での活躍の様子をさわやかに話されます。

平成20年度　皐城会総会ご案内

◆日　時　平成20年4月13日（日）午後1時～3時
◆場　所　池田市民文化会館　コンベンションルーム
池田市天神1－7－1　☎072-761-8811
阪急宝塚線石橋駅下車　徒歩8分
◆会次第　第一部　総会
第二部　講演
講師　勝本　章子　さん（8期）
演題　お前の世界ほど美しい世界はない
～大阪、東京、ウィーンでの出会い～
第三部　立食パーティ
◆会　費　5,000円（54期生以降は 2,000円）
協賛金と一緒に同封の振替用紙にて最寄の郵便局からご送金ください。

ご挨拶

皐城会会長　松本淳一郎

皐城会会員の皆様方には、益々ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

時の経つのは早く、4月の年次総会の日が近づいてまいりました。この3月には、60期生の諸君が卒業し、皐城会会員として入会されます。皐城会も会員数が九千名を越える大所帯になっています。同じ中学校を巣立った仲間同志、益々絆を固くしていきたいものです。

皆様ご承知の通り、今、日本は教育再生の重要性が、再び大きく叫ばれています。一方では、少子化の現実から学校経営が厳しくなっており、さらには国の財政再建に伴う歳出の削減の影響が学校への補助金圧縮という形で顕れています。

私達の母校は、このような環境の中でも世評の高い優れた学校として世の中に認知され、入学希望者も多く益々その存在意識を高めておりますが、大学傘下の附属中学校という立場上財政の基盤は決して楽ではありません。

この様な環境の中で、皐城会が母校を支援するため何ができるかを考えていますが、最も同窓会としてふさわしいものの一つが、これまでも実施して評価の良かった「先輩による生徒への授業」であるかと思います。各界における優れた先輩達が、生徒諸君に各人の経験や、いろいろな世界の状況を伝えることは、生徒達の将来への指針としてきわめて意義のあることだと考えます。先輩たる皐城会会員の格別のご好意に依存するというところ大なるものがありますが、若干の経費的負担を皐城会が受け持つことを含めて母校を応援しては如何かと思います。一つの提案として皆様のご意向を伺いたく存じます。

さて、いよいよ4月の総会を迎えますが、今年度の総会は8の期の皆さんが中心となって運営してくださいます。別途ご案内の通り8の期の勝本章子さん（声楽家）の講演を聞かせていただくことになっています。大勢参加していただき、楽しい総会になりますことを期待しております。

教育環境の整備

学校長　三村寛一

皐城会の会員の皆様、平素は母校発展のために深いご理解と多大なご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

校長として任期の2期目の前半を終え、今年は最後の年になりました。この間、本校の教育環境を整えるべく全力で取り組んで参りました。人的な環境づくりでは、先生方の教員としての資質能力の向上を掲げ、校内研究授業の機会を従前の2倍に研究発表も毎年実施し、北は北海道から南は九州、沖縄まで、大勢の教育関係者にご参会いただき大きな成果を上げることができました。物的環境の面では長年の懸案でありました体育館の改修工事が昨秋から始まり、この6月末には竣工予定です。卒業生の皆様方には「先輩の授業を受けよう！」への取り組み支援や中庭のウッドデッキの寄贈など物心両面から母校を支えていただき深く感謝致しております。

平成24年度から学習指導要領が変わります。学力の定着、伸長、生きる力の育成の一層さの充実が求められています。教育の不易と流行を踏まえ、今年度から新しい教育課程の編纂に取り組まなければなりません。教育を巡る環境、とりわけ附属学校が置かれている立場は大変厳しいものがあります。附属学校の使命を果たすため、教職員一丸となって全力を尽くす所存ですので、卒業生の皆様、今後ともご支援のほどお願い致します。

「先輩の授業を受けよう」も4年目！

今年も……そして来年も

「先輩の授業を受けよう」は、50周年のときに企画・実行され（3回・講師37名）、再び60周年記念事業としてプレ60周年、60周年、そして今年と、合計6回が開催されました。平成19年9月15日午後2時から、在校生を対象に、PTAにも公開され実施されました。各方面の16名の皐城会会員が教壇に立ちました。生徒、PTA、そして先生方に、多くの感動と影響を与えました。来年も、継続されることを生徒とPTAは期待しています。

SHALL WE DANCE？

講　師	授業テーマ
人を元気にする 地域活性化プランナー 川部　重臣（11期）	心を動かすコミュニケーション ～コピーライターから始まった、 時代の変化を見つめる仕事～
心臓血管外科医 大阪大学医学部附属病院 副部長 （病院教授）福嶌　教偉（24期）	移植医療のあれこれ （何故心臓移植医になってしまったの？）
医師　大津市民病院 呼吸器外科　部長 戸田　省吾（24期）	タバコを吸ったらいけないの？ －肺がん手術の裏話－
国立民族学博物館　教授 小長谷有紀（25期）	モンゴル草原の生活世界を味わおう！ モンゴルヒツジ肉料理 「ホーショール」づくり
大阪府立高等学校教員 臨床心理学士、学校心理士 小寺五三子（26期）	聞もなは…
安土町立図書館長・司書 太田　典子（26期）	図書館から生まれる出会い
毎日新聞社岡山市局長 筑場大学非常勤講師 小笠原敦子（28期）	女性記者として伝えたいこと
シャンソン歌手 須山公美子（28期）	大衆音楽文化を通して、まちづくりを考える…「宝塚シャンソン化計画」の挑戦…
京都大学医学部附属病院 放射線治療医師 光森　通英（28期）	いまどきの医師の仕事
漫画家・さそうあきら 佐草　晃（28期）	似顔絵を描こう！
毎日放送ラジオ報道部 部長記者 大谷　邦郎（29期）	コミュニケーションの達人になろう！
獣医師 美濃部五三男（30期）	ヒューマンアニマルボンド （HAB）を知っていますか？ 「マスメディアは信じられるか？」
先生派遣・紹介 教育研修会代表取締役 木下　晴弘（32期）	やる気の出るセミナー ～成功するための7つの法則～
落語家・林家　竹丸 前田　仁（33期）	落語ブームがやってきた！
プロフェッショナル ボールルームダンス競技選手 白石　智樹（36期）	SHALL WE DANCE？ 「社交ダンスって知ってますか？」
作編曲家 ピアニスト・キーボディスト 廣田　圭美（44期）	作曲の楽しさ、音楽とリズムの関係

体も動かして……

うまくできるかな～

PTAも生徒もうっとり！

生徒の感想

図書館から生まれる出会い
太田　典子　先生

早速、本屋に立ち寄った。もうひとつ学んだこと、いつもチャンスの前髪を自分からつかみに行くような姿勢を持ちつづけていらっしゃるということで僕もそのような積極的な姿勢を身に付けたい。（1C男子）

移植医療あれこれ
福嶌　教偉　先生

沢山の知識を得ることができた。患者さんの世界を広く、明るくすることのできる移植は本当にすごいです！人々の希望の光になれる医者はすばらしいと思った。将来、人を助けられるような人間になりたいと思った。（2B　女子）

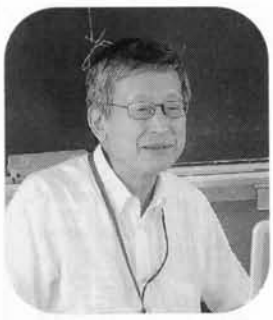
～コピーライターから始まった。時代の変化を見つめる仕事～
川部　重臣　先生

「人の上に立つものは一番下の立場にある」と考えなければならない。この考えを忘れずにいれたらいいな。堂々と自分の思いを言いたい。将来につながるような、趣味を持てるものに出会えるのでしょうか？その時は、選んで、その仕事につきたい。（2C　女子）

敢えて為す者が勝利す
木下　晴弘　先生

自分の将来について考え直そうと思えた。勉学というものは、入試を突破する力でなく、人間性を豊かにするためのものであることを知ってかなり驚いた。クラスが仲良ければ成功することを知り、いかしていきたい。何をするときも、あきらめることだけはしないようにしたい。（3B男子）

豊かな講師陣！



11期
川部重臣先生

44期
廣田圭美先生

24期
福嶌教偉先生

24期
戸田省吾先生

25期
小長谷有紀先生

36期
白石智樹先生

26期
小寺五三子先生

26期
太田典子先生

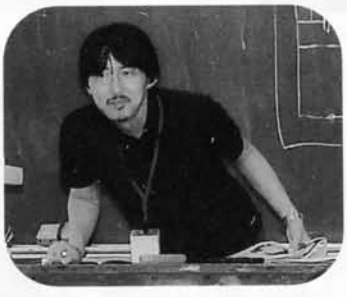
33期
前田　仁先生（林家竹丸）

28期
小笠原敦子先生

28期
須山公美子先生

28期
光森通英先生

32期
木下晴弘先生



28期
さそうあきら先生

29期
大谷邦郎先生

30期
美濃部五三男先生

上手でしょう?!

犬も人も幸せ

次年活動報告

2期生
伊豆一泊旅行を楽しむ

今年は8年ぶりに関東でということになり、11月8日～9日に伊豆一泊旅行を楽しみました。はるばるアメリカから参加してくれた秋元貞彦君を含めて19名、伊東の宿で夜遅くまで大いに盛り上がりました。

翌日はお天気にも恵まれ貸し切りバスで伊豆の東海岸を開国の町下田へ、寝姿山からのすばらしい眺望を堪能し、開国記念館や唐人お吉の眠る宝福寺等を見学した後は、河津七滝、瀞蓮の滝、修善寺温泉などを経て三島まで小説「伊豆の踊り子」の逆ルートで晩秋の風景を眺めながらの車中も又大変楽しいものでした。

来年もお互い元気で再会することをお約束し、三島駅で東と西に別れました。

（2期・高下幸治）

8期生
八附会ゴルフ会

8期生のゴルフ同窓会が始まったのは20数年前から。松村雄吾君（松村組）のご協力で福知山カントリークラブでの開催であった。当時の世話役は西村博君。以来、谷秀昭君

6期生
再会を果たして

附中第6期生は平成19年3月17日、大阪新阪急ホテルにおいて、同窓会を開きました。

恩師藤原喜代子先生をお迎えして、北海道や東京をはじめ全国から、そしてアメリカからも、全部で48名が集まりました。

卒業50周年記念の集まりから3年、それぞれが一言ずつのスピーチをして、懐かしさとともに、元気で再会できたことを嬉しく思いました。地下ラウンジでの二次会にも、ほとんどの人が出席して、尽きぬ話で盛り上がりました。

（6期・石川澄子）

9期生
同窓会報告

11月10日、2年ぶりに9期生の同窓会を開催しました。今年は卒業して50年の区切りの年ということもあり、東京からも4名の参加があり、全部で23名で、楽しいひと時を過ごしました。会場の新阪急ホテルで、12時から3時まで、そしてその後喫茶店に場所を移しての歓談でしたが、なかなか話が途切れず最後までのメンく出されましたので、その方向で検討したいと思っています。日々の生活に、また新しい力を与えてくれるような元気な集まりであったと感じさせてくれる一日でした。（9期・加藤正明）

13期生
恒例のテニス・食事会

13期恒例のテニス・食事会を2007年11月24日に開催しました。

テニス会出席7名、食事会出席13名でした。

同期で結婚した2組が参加し、本当に楽しいひとときでした。英気を養って、仕事に、家庭に、定年後の生活にもどっていけます。

（13期・正岡　哲）

テニスコートで↓

14期生
還暦過ぎて益々さかん！

てそちらが忙しくて欠席という人もありました。

それに先だって11月16日、恩師山田輝吉先生が逝去され、お通夜あるいはお葬儀に計10数名が参列させていただきました。それで山田先生の思い出を語り合う会にもなりました。また、東京皐城会の会長に藤木君が就任されたとのことで、同期生の応援を頼みたいとのメッセージ

当時の世話役は西村博君。以来、谷秀昭君（故人）が精力的に輪を広げてくれて、関東からの参加者も含めて盛況であった。最近はよる年の波には逆らえず、登録メンバーは約30名ながら参加者は10名前後、でも紅一点のメンバー福田みほ君の叱咤激励に応えて皆楽しくプレーをしています。（8期・藤原　顕）

第27回東京皐城会

田中龍三先生の「わくわく授業」の再現に盛り上がり

テレビで紹介された田中龍三先生の「わくわく授業」の再現に盛り上がりました。

第27回東京皐城会

ことしも東京皐城会は11月10日土曜日の午後5時から、御茶ノ水に近い文京区湯島の東京ガーデンパレス・天空の間で、約80名の参加を得て賑やかに開催されました。総会では13期の勝田和行会長から挨拶と会計報告が行われ、併せて次期会長に14期の藤木豊さんを選出。抽選でテーブルに座って頂く前半は、世代を超えて語り合う趣向で、親子ほどの年の差をものともしない会話が弾みました。今年のイベントは、NHKテレビで話題を呼んだ「ドラマ科の授業」を大阪教育大学教授で元教官でもある19期の田中龍三さんに再現して頂きました。ピアノ伴奏は附中時代の音楽部のお仲間だった東京藝術大学講師の20期茂木眞理子さん。演技することで相手に伝えるという、ジェスチャーゲームのような新しい授業。子供たちの表現力の創造を目指す「たなりゅう」こと田中先生の熱気溢れる授業に、会場は大いに沸きました。

今年の東京皐城会では参加者動向に新しい傾向が顕著に現れました。10期9人・11期5人・13期10人という

これまで出席が比較的に少なかった世代からの参加です。さらには19期5人・20期9人といったように、同期が誘い合っての参加が増えたことがこれまでにない新しい傾向でしょうか。

文字通り合同のミニ同期会の観があり、閉会後はそれぞれの同期会へ移行するという形が出来てきたようです。

反面、例年大勢の参加で会場を賑やかに活気づけて頂いていた大先輩の3期・4期の皆さんの出席が少なかったことが残念！と、後輩たちが淋しがっていました。来年は是非とも皆さんお揃いで、お元気なお姿を見せて頂きたいものです。恩師としてご参加頂いた松村直行先生、三村寛一校長のお二人からは、嬉しいご挨拶と母校の近況をご紹介頂けたのも嬉しいことでした。

会の後半は席替えをして同期でテーブルを囲むミニ同期会。同期の出席が多かったこともあり、どのテーブルでも会話が賑やかなこと。そしてフィナーレは「みんなで歌おう」コーナー、茂木さんの生ピアノで赤とんぼや里の秋・旅愁など懐かしい歌を皆で歌って、校歌で今年も幸せ気分で閉会しました。今年は11月16日日曜日午後4時から同じ東京ガーデンパレス「天空」で開催します。お誘い合わせてご参集ください。関西の皆様も遠足気分で東京皐城会へお出かけになりませんか。（11期・川部重臣）

24期生

なにわ淀川花火大会

昨年11月24日、15名が梅三小路「キリンシティ」に集まりました。

10年以上会ってないのでと、東京から日帰りで来てくれた友もあり、久しぶりの再会を楽しみました。定年になった者もおれば、まだ半現役だと頑張っている友もあり、趣味の世界に入っての参加もあり、いろいろな情報提供に瞬く間に時間が経ってしまった一夜でした。

なお、同期生への連絡はメールFAXでしています。連絡が行ってない人はアドレス、FAX番号を06－6856－1750秦までFAXでお知らせ下さい。（14期・秦　博文）

24期はここ数年、8月の「なにわ淀川花火大会」に合わせ納涼バーベキュー大会を行っています。8月の第一土曜の夜、梅田のビルの屋上でバーベキューを行いながら、夕方から深夜までにぎやかに飲み食いをしています。附小・附中・附高と合同の開催ですが、毎年30名以上が集っています。

恩師の先生方がだんだんと参加されなくなる中、山内先生は「夏の研修と重なるから定年まで参加できない。」とおっしゃっておられました。ところが、学校長特別補佐兼メンタルサポート特別コーディネーターとして学校に残られ、またご参加が延びてしまいました。山内先生、今年こそはご参加を。（24期・松塚澄夫）

平成19年度 皐城会総会 記念講演は 永井勇吉さん（7期生）

昨年の総会を振り返って

昨年の皐城会総会は4月15日（日）いつもの池田市民文化会館のアゼリア大ホールにて開催されました。

昨年度は7の期（7・17・27・37・47・57期）が中心となって理事会と共に総会を実行する事になっておりましたが、参加人数は例年より少し少なめの約90名。しかし、千葉から参加していただいた7期の永井勇吉君が講演してくれた事もあり、我々7期からは実に37名もの仲間が参加してくれ、盛大に賑やかに実行する事ができ、7の期としてもその責任を立派に果たす事ができたと思っております。

総会後、7期の仲間は会場を池田駅前の満寿美荘に移し実に57名（7期卒業生総数約150名）が大広間の座敷いっぱいに会し、再びの大宴会。約2時間の実に楽しい時をすごす事ができ、卒業後52年間のお互いの健勝を称えつつ、近い将来の再会を約束いたしました。

（7期　能勢隆文）

平成19年度総会　これぞ国際ボランティア！
永井勇吉氏（7期）

今の附中の季節行事を解説（石田副校長）

和やかな懇親会・7の期が集いました

卒業生集まれ!!
～母校で授業をして下さい～

附属池田中学校では、在校生を対象とした「卒業生による授業～先輩の授業を受けよう～」を、例年9月の土曜日に実施しています。この企画は、在校生（後輩）が、多方面で活躍されている卒業生（先輩）の方々の授業を通して、将来の夢や進路を見つめる機会にしようとするものです。

平成8年（1996年）、創立50周年記念で企画実施しました「先輩の授業をうけよう」は、NHKの「ようこそ先輩」に先駆けて実施した取り組みで、5月、6月、9月と3回にわたって延べ37名の卒業生に来校いただき、毎回、多彩で楽しい授業をしていただきました。

平成17年度より創立60周年の準備がスタートしたのに伴い「先輩の授業をうけよう」を再開し、その年の9月10日の授業には16人、次の18年は15名、今年度は16名の卒業生の方々の参加、協力をいただきました。

各界のさまざまな分野でご活躍の卒業生との交流は、生徒たちが池田附属中学校を誇りに思ってくれると同時に、自分探しのキャリア教育として、これ以上のものはないと思っています。

卒業生の皆さん、附属池田中学校にお越しいただき、後輩たちへの授業講師を引き受けていただけませんでしょうか。池田附属から明るいニュースを発信するため、積極的に学校の存在をアピールするためにも、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

（山内啓子）

卒業生の常勤講師の紹介・挨拶

《担当・　山内連絡先》
大阪教育大学附属池田中学校
☎072－761－8690　FAX072－761－1104
yamakei@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

＊お知らせ

- 3月9日（日）グランビア大阪
  午後12時～鳳凰の間
  30期同窓会　30期美濃部まで
  （isawo@ain-ah.com）
- 3月9日（日）午後2時から
  附中合同同窓会　期を越えて集まれ!!　詳しくは事務局まで
  ☎06－6360－0120
  ikefu-dousoukai@ain-ah.com

＊募集!!

- 「総会」や「先輩の従業を受けよう」での講師
- 「会報への投稿記事募集」
  皐城会は若い力を必要としています。お手伝いください!!

応募＆問合せ先
皐城会事務局
（kojokai@suiryoken.co.jp）

＊学年代表幹事の皆様へ

※皐城会と各学年との連絡を上手くとれるよう「学年代表幹事メーリングリスト」を再構築することになりました。

メールのある方は、左記皐城会まで、お名前、卒業期をご連絡ください。

連絡先 koujyoukai@ain-ah.com

※皐城会の組織として各学年に、クラス幹事2名づつ（4～8名）と、そのクラス幹事から2名の学年代表幹事を選出いただいております。

クラス幹事は、クラス内への同窓会の案内等を担当いただき、学年代表幹事は、皐城会とクラス幹事との間の連絡を担当いただいております。（皐城会学年代表幹事・委員会　正岡　哲）

ご協力ありがとうございました

平成十九年度皐城会総会にご出席および協賛金を送りいただいた方々、どうもありがとうございました。

皆様のご芳志に厚く御礼申し上げます。

（平成十九年一月十日～二十年一月十九日）

恩師便り ⑦

「池田と私」

鈴木康之先生
（附中在職 昭和45年～昭和54年）

大阪万博の年（昭和45年）附中池田にやってきました。大きなエントツが3本附中と附高の間にあり、工場のような建物があり、まだ体育館はなく木造校舎が3棟立っていました。五月山が校舎から良く見え、都会から来た私には心なごむ風景でした。

祖父は駒澤大学を出て園芸高校の教師をしており、尊鉢から通っていました。父は池田師範で剣道に励んでいました。池田市役所のすぐ北の丘に住んでいました。

こうしてみると我が家は、池田市とずいぶん縁が深いことが良くわかります。

鉄道趣味の私は、川西池田駅から鈍行列車にゆられて帰阪したものでした。

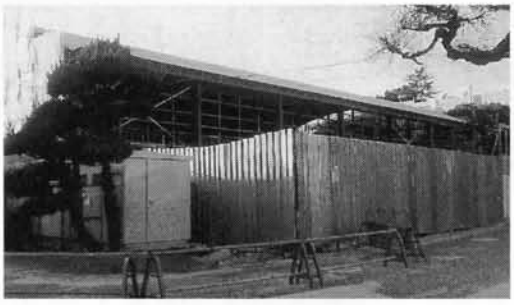
（このことが附中に来た一番の原因では……）9年間、この旅を楽しみました。

今、人生を振り返ると、旅に明け暮れた人生でした。

1876年第30期生 2 年の秋の遠足
（二上山への地学巡検）

体育館の大改修

～ 完成は今年六月末日の予定 ～



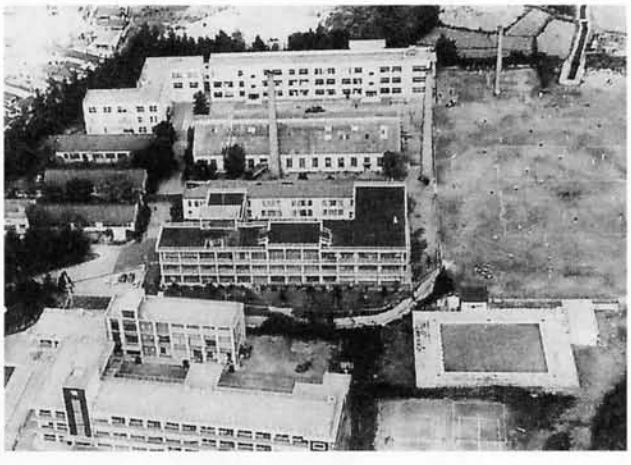
昨秋の十月から待望の体育館・武道館の大改修が行われています。長年の酷使で痛みがひどく中高兼用の施設にしては手狭で、思い切った建替えを望んでいましたが予算の関係で耐震補強工事として認められました。工事の概要は今の施設に一階は男女の更衣室を整備しバレーボールコートを増設。二階には中高の体育準備室、ミィーティングルーム、トレーニング室が完備されます。

体育館の歴史を振り返ると、今の体育館・武道館が竣工したのは昭和四十六年の四月ですから、三十七年間も授業や部活動、文化祭入学式や卒業式などに使われてきました。竣工当時は舞台はなく、昭和五十七年七月にやっと今の仮設舞台部分が増築され、その上に舞台が設置されました。それまでは、文化祭、卒業式等の行事の前に、天王寺分校から大工さんがやってきて足場を組み、その上にベニヤ板や武道館の畳を敷いて仮の舞台にしていました。この時代に在学した皆さん覚えていますか。

今回の大改修では、せめて他校並みの舞台設置を希望したのですが叶わず、今までのような仮設舞台が関の山です。幕、照明や放送設備等もこちらで準備しなければなりません。

二月四日にやっと建築の確認申請が許可され、本格的な工事に入ります。四月の入学式は新しい体育館で行うのを楽しみにしていたのですが、大幅に遅れて完成は六月末になりそうです。

（副校長　石田晶大）



→昭和四十四年の附小・中・高等学校全景
上から、附高・附中・附小

念願のプールが完成したのが44年、附中のシンボル、三本の煙突が撤去されたのが45年であった。待望の体育館が完成したのが46年であった。

（池田附中50周年誌より　写真・文）

平成20年度　総会　記念講演

声楽家　勝本章子 さん（8期）

今回講師をお願いした勝本明子さん（8期）は国立音大卒業後、ウィーンに留学され声楽とオペラを学ばれたコロラチュラソプラノ歌手です。

ウィーンでは、カンマーオーパーに初の日本人として契約宮廷歌手ヒルデ、ツァデク女史の秘蔵っ子14人中の唯一の日本人女性でもあります。

日本では、ハイドン＜天地創造＞のソリストとして群を抜いた歌唱力は、指揮者小沢氏と共に絶賛されるなど数多くの業績を残されています。

どんな話を聞かせていただけるのか。どうぞお楽しみください。

＜略歴＞

	附中　桜塚高校
S40	国立音楽大学音楽部声楽科卒
S42	同　専攻科卒
S45	ウィーン市立音楽院卒（声楽科　オペラ科）
	コンセルバトリウム教授ヒルデ、ツァデク（声楽師事）
	同　ペーター、クライン（オペラ師事）
H18	国立音楽大学定年退職
現	東京二期会会員

訃報

田中耕三　先生

附属中学校創立時からの先生で昭和22年～昭和39年まで社会科を担当。

平成17年、瑞宝双光章を受章。平成19年5月16日ご逝去されました。享年91。

山田輝吉　先生

昭和27年～昭和49年まで体育担当。

平成19年11月16日ご逝去されました。享年81。

慎んでご冥福をお祈り申し上げます。